

007

海岸沿いの町における
漁業者と地域住民による共同防災訓練

取組主体

愛南地区沿岸海難（津波）救助協議会

従業員数

約 150 人

想定災害

津波等

実施地域

愛媛県

- ・ 漁業者と地域住民による共同防災訓練を実施。漁業者、漁協、地域住民のそれぞれの役割を決め、船の沖出しから救援物資の運搬まで、一連の災害対策訓練を実施した。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

漁業者と住民との共同訓練の実施

- ・ 愛南町の漁業者を中心に組織された愛南地区沿岸海難(津波)救助協議会では、毎年様々な防災訓練を行っている。愛南町は愛媛県の最南端に位置し、リアス式海岸の中でも複雑かつ急峻な地形を持っており、津波被害が発生した際には、外海と湾内・港内、湾と湾の間の交通について、海路、陸路ともに制限されてしまう可能性が高い。同協議会は、水産庁が進める水産多面的機能発揮対策事業の採択を受け、海難救助の知識と災害への対応能力を得るために設立された。
- ・ 平成 29 年度においては、地域住民と連携し、災害発生から避難生活までの一連の災害対策を行う訓練を実施した。漁業者は警報を受信次第、船の沖出しを行い（同協議会では、沖での操業中は、地震発生後 10 分以内で陸へ接岸できる場合は陸の高台への避難を、それ以外の場合は、水深 50m以上の沖合へと沖出しを行うよう指導している）、故障・漂流船を引いて沖に連れ戻す曳航（えいこう）訓練を実施し、地域住民はその間、高台へ避難する。避難後の救援物資の搬入訓練では、それぞれの役割を決め、漁業者は海上輸送、漁協は陸揚げや中継、地域住民は受取を行う。最後に、漁協女性部による炊き出し訓練を行う。



愛南町の地理的特徴



搬入訓練の様子



炊き出し訓練の様子

- ・ 同協議会では、今後も、漁業者、地域住民、漁協女性部など、いろいろな組織との連携で訓練を行うことにより、有事の際の災害現場における助け合いの精神につなげていきたい考えである。
- ・ 令和 2 年度においては、船舶火災を想定した消火訓練を実施した。

2 現状の課題・今後の展開等

- ・ 地形が複雑であることから漁業無線の電波が届きにくい点が課題であるが、それを補うことができる漁船同士の漁業無線ネットワークをより強固なものにしていくことで、減災の取組へとつなげていきたい考えである。

担当者の声

- ・ 災害時において、冷静な判断力を養うには訓練における知識と経験を積み重ねることが重要だと考えています。今後も様々なテーマの訓練を継続して、防災や減災につなげる取組を行っていきます。

問合せ先

愛南漁業協同組合 法人番号：9500005006768
 電話番号：0895-72-1634 FAX：0895-72-1144
 E-Mail：m.shimoda@jf-ainan.or.jp

サイト URL

